

にほんご
交流活動
事業

もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00~12:00

2017 年度を振り返って

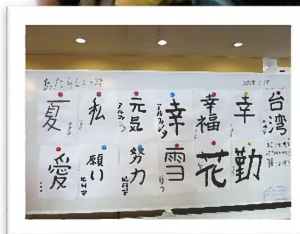
ボランティアメンバーが、それぞれテーマや内容を工夫して講座を行っているのですが、毎回の学習が活動のハイライトになっています。例えば、腹話術パートナーの“だいちゃん”が参加したり、年賀状や書初めを体験したり、年末には懇親会を開催し日頃の学習時には聞けない学習者の思いを聞くことができました。「共に学ぶ」を大切にすることで、学習者同士や学習者とボランティアの交流も深まり、継続率も高まってきていると感じます。

ボランティアより



2018 年度に向けて

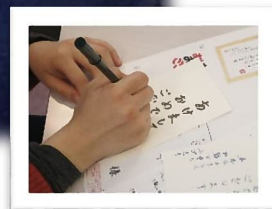
学習者同士が日本語で会話をしたり、学習者がボランティアや他の学習者に説明や質問をするような機会を増やして、学習者にもっともっと日本語を使ってもらえるようにしたいと思います。



写真上) アシスタントの大ちゃんが参加の学習は大人も楽しい!

写真下左) 書き初め、初体験でも堂々とした立派な字が書けました。

写真下右) 年賀状独特の言葉を書いて体験、初めて書くことがいっぱい楽しそう。



にほんご
交流活動
事業

とよなかにはほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別でのグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK! 毎週木曜日 13:30~15:30

2017 年度を振り返って

グループ学習で前半・ティータイム・後半の三つに分けています。前半は習熟度別、後半は学習者の希望による選択。ティータイムではグループ以外の人達とも交流し情報の交換もします。お国のお菓子の差し入れもあります。年 4 回発行の情報紙「ちょっとほっと」では帰国した学習者の便りなども楽しみです。年一度のお料理会、ポットラックパーティ、遠足、お抹茶の会など学習者との交流を通して私たちも学ぶことが多い活動です。

ボランティアより



2018 年度に向けて

月 2 回の全体ミーティングで学習者やボランティアの情報を共有して学習者の希望に気づき、継続して学習に来てもらうような工夫をしていきたい。(学習者への参加証の作成)

写真上) 3月29日 木ひるのイベントで万博公園にお花見に出かけました。お天気は快晴、桜は満開。みんなお弁当やおやつをもって 51 名参加 (学習者の乳幼児含む)
写真下右) 12 月最後の木ひるはポットラックパーティ。みんな食べ物しか見てませんね~
写真下中) お母さんといっしょに日本語がんばってます! チェンさんと娘さん
写真下左) 赤ちゃんは丸尾さんにあやしてもらって、笑顔で勉強中のロナさん



にほんご
交流活動
事業

とよなかにはんご・金あさ

日本語交流活動。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK!
毎週金曜日 10:30~12:00

ボランティアより

2017 年度を 振り返って

ボランティアが学習者 1 人から 3 人を担当し、学習者の生活を考え、必要と思われる日本語を獲得するお手伝いをしています。

月 1 回のミニ交流会は、お互いの文化を知り合う機会になり、楽しい時間になっています。

2018 年度に向けて

日本の文化を知って頂く活動はしっかり行っていますが、学習者の国のことを積極的にアピールして頂く時間をもっとあってもよいかと思います。より積極的な活動を展開していきたいです。



写真上 2 つ) CC スペースでの学習風景
写真右) 会議室 2 での学習風景 広い会議室がいっぱいになるくらいの人数です

にほんご
交流活動
事業

にちようがちゃがちゃだん

平日働く人たちも参加できる日本語交流活動。参加者のさまざまなニーズに対応しています。
毎週日曜日 10:00~12:00 (第一日曜日は休み)

2017 年度を振り返って

日本語学習を通じ、学習者が安心して参加できる居場所作りを心がけてきました。ボランティアは学習者の学習目的に合わせた学習内容に応えるべく学習毎に努力しています。ボランティアの努力結果として前年度比約 2 倍の学習者の参加数で推移しています。また、学習のみの交流だけではなく、年末の「料理交流会」や年度末の「お茶会・ビンゴ大会」等のイベントも実施しました。学習者とボランティアのより一層の相互信頼を構築したいとの目的です。学習者の笑顔を見ることがボランティアの最大の喜びであります。

・家族と離れ日本で技能を身につけるためにやってきた外国の若者に、日本語学習のサポートや会話をしてお互いの国の文化を楽しく交流するなどしています。そのまじめでひたむきな姿は感動的です。

ボランティアより



2018 年度に 向けて

2017 年度、ボランティアの努力で「種」を蒔きました。2018 年度は「幼木」をもう少し大きく育てよう努めたいと願っています。



写真上) 学習風景
写真中) 料理交流会
写真下) お茶会

多文化共生推進事業

多文化共生推進事業

日本人/外国人のために、参加しやすく、異文化理解を促進する様々な取り組みをおこなっていきます。



写真左) 外国人のための武道体験 (空手)
写真上) 外国人のための日本料理体験の様子。出汁をとってお味噌汁や筑前煮を作りました



2017 年度を振り返って

食を通じた国際理解「世界を食べよう」では、外国人むけ日本料理体験を初めて開催し、大変好評でした。外国人向けの講座としては、このほか茶道体験や、昨年に引き続き (公財) 豊中市スポーツ振興事業団との共催で武道体験 (空手、剣道、合気道) を開催しました。「国流シネマカフェ」も 2 年目となり、リピーターも含めて毎回多くの参加があり、事業として定着してきました。

2018 年度に向けて

料理や茶道、武道といった文化体験、映画を通して、外国人と日本人が出会ったり、文化や歴史への理解を深める場となるよう、特に広報活動に力を入れていきたいと思いま

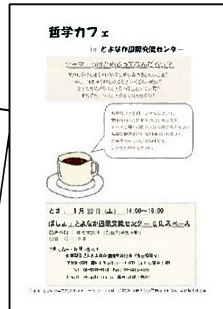
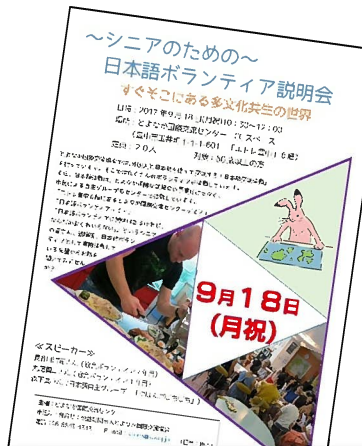
持続可能な人づくり事業

ボランティア養成・研修/哲学カフェ

- ・時代に則した学びの場、および対話の場を創造し、多文化共生社会をつくる人づくりを行っています。
- ・哲学カフェ (大阪大学臨床哲学研究室の協力、カフェフィロとの共催)
- ・日本語ボランティア養成講座の開催 (年 1 回)

2017 年度を振り返って

哲学カフェでは、「治る」「うまれる」「受けとめる」という 3 つのテーマについて、ゆっくりと話し合い、考えを深めることができました。また、新たに進行役を引き受けてくれる学生ボランティアが登場し、新鮮な風を届けてくれました。他、今年度は沖縄をテーマとして「学びほぐしセミナー」を連続開催し、多くの方と沖縄が抱える課題についてともに考える機会となりました。



2018 年度に向けて

【哲学カフェ】

協会のミッションや大事にしているものを考えに入れながら、一つ一つテーマを決めていきます。「女性のための哲学カフェ」も、さらに工夫して開催できればと思っています。

【ボランティア研修】

今後も人権、国際にかかわる様々なテーマを取り上げ、参加していただきやすい企画をつくっていきます!



文公輝さんによるレイシャルハラスメントの講義 (日本語ボランティア養成講座)



学びほぐしセミナー第三回の講師

持続可能な
地域づくり
事業

- ・持続可能な開発のための教育の10年(ESDとよなか)
- ・メディアリテラシー市民ゼミナール・講師派遣
- ・EPA介護福祉士候補者のための日本語・海外体験学習

NEW

【ESDとよなか】国連持続可能な開発のための教育の10年(2005年～2014年)の理念に基づき、次世代に渡す地域づくりのための多様なセクターが連携するための取り組み。【メディアリテラシー】メディア分析を通じて「外国人・日本人」の捉えられ方、考え方を見直す参加型の講座。【講師派遣】地域の学校・諸団体への講師派遣。【EPA日本語】介護福祉士候補者のための日本語サポート

2017年度を振り返って

【講師派遣】今年度は市内外の学校をはじめ、人権研修などにのべ65件、99人が各機関に出向きました。

【ESDとよなか】豊中市と市民活動中間支援団体によるESDとよなか連絡会議(※)を行い、各団体の取組状況の共有、課題や連携についてミーティングを行いました。

【メディアリテラシー】講座では、テレビやネット動画などの映像メディアが提示する「外国・外国人」像を分析し、クリティカルな思考やマイノリティ市民の視点の重要性を学びました。

【EPA介護福祉士候補者のための日本語】日本では2008年から、EPA(経済連携協定)の枠組みで多くの外国人介護福祉士候補者(以下候補者)の受入れが始まりました。豊中においても、現在も多くの介護施設でインドネシアやフィリピンから来日した候補者が活動しています。昨年12月より協会は、日本語ボランティアの協力を得て介護福祉士候補者のための日本語指導グループ「EPAST(EPA Support TOYONAKA)」を結成し、市内の介護施設と連携して、介護福祉士国家試験対策と共に、業務上の日本語習得および日本語検定試験のサポートを行っています。

【海外体験学習】

2017年11月に2泊3日で、『韓国事情をさぐる』をテーマに「近くて遠い国」と言われ続け、何かと課題の多い日韓関係を解きほぐす旅をしました。①不可逆的「従軍慰安婦」問題から過去をさぐる(戦争と情勢の人権博物館)、②地方参政権課題を通して現代をさぐる(弘益大准教授の講義)、③多民族共生社会の未来をさぐる(移住背景青少年支援財団と多文化家族支援センターと多文化特区村)三つの課題について、現地案内人の方々から様々な視点と深い学びを得ることができました。参加者は9名で2泊3日の濃厚な旅をたっぷり満喫して帰ってきました。

2018年度に向けて

【講師派遣】今年度も積極的に多文化共生・協会事業について発信していきます。

【ESDとよなか】ESDとよなか連絡会議の課題である「誰もが住みやすく、持続可能な社会(地域)づくりの推進」に沿って、様々な事業を計画・実施します。

【メディアリテラシー】リピーターもふくめ、より多くの方に参加してもらえるようなテーマを考えていきたいです。

【EPA日本語】日本語のみならず、候補者が日本で安心して仕事や生活ができるようサポートをしていきたいと考えています。



市内介護施設と連携して、EPA(介護福祉士候補者)のフィリピン人3名をサポート中です。



メディアリテラシー講座「テレビの向こうの外国人」のようす



豊中市美化啓発事業に参加して、駅前清掃を行いました。

コモとスースのポストカードセット
(5枚入り、200円)
事務所にて大好評販売中!



海外体験学習@韓国：多文化家族支援本部前、参加者と案内人の方々

※ESDとよなか連絡会議：赤ちゃんからのESD、市民環境会議アジェンダ21、人権まちづくり協会、国際交流協会、男女共同参画推進財団、社会福祉協議会、教育委員会(地域教育振興課)、環境政策課、千里文化センター、人権政策課が構成メンバーのゆるやかなネットワーク。

市民活動
協働事業

市民活動協働事業

様々な市民団体、中間支援組織と共に、多文化共生のまちづくりをすすめるための協働事業を実施するとともに、市民主体の国際交流活動を促進するための相談、および支援をおこなっています。

2017年度を振り返って

「市民活動共同デスク」「しょうないREK」など中間支援組織のネットワークで情報共有、発信をしています。しょうないREKでは、庄内地域で多言語進路ガイダンスを行いました。ほかにも地域の国際交流市民団体への支援、協働を行っています。今年も秋に「とよなか国際交流フェスタ」を実行委員会形式で実施し、国際交流・多文化共生に関する市民活動の発信を行いました。

2018年度に向けて

中間支援組織の連携をより一層促進して、協働で市民向け事業等を進めていきたいです。また、市民団体との協働も進め、豊中市内の多文化共生・国際交流・市民活動を盛り上げていきたいです。



写真は「とよなか国際交流フェスタ」のようす。

施設管理
受託事業

施設管理受託事業

豊中市からの委託をうけて、とよなか国際交流センターの貸室業務などの公共空間の管理、組織運営を行っています。

2017年度を振り返って

とよなか国際交流センターの利用者は84,755人でうち外国人利用者数は33,893人でした。視察受入(13件)では国際交流、多文化共生推進について全国各地から訪問がありました。とよなか国際交流センターの登録グループ(24団体)とは連絡会を持ち、実行委員会形式でイベント「とよなか国際交流フェスタ」を開催しました。地域のみなさんにセンターで活動する団体の活動や協会・センターの存在意義を再認識してもらう場となりました。



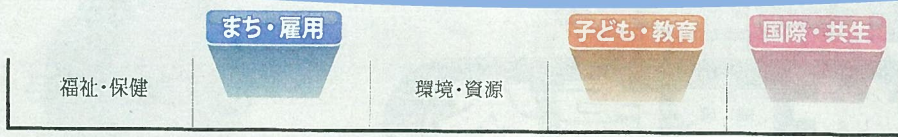
視察受け入れで岸和田市国際親善協会の皆さんにプレゼンテーション中

2018年度に向けて

2018年度はセンター・協会は設立25周年です。豊中市の国際交流・多文化共生の拠点として、施設の使いやすさ、安全性に加え、機関・団体の情報交換や交流の場、情報発信の場としての機能を高めていきたいです。

TOPICS

外国にルーツをもつ子どもに関するネットワークを推進！



言葉、貧困、いじめ、就労…

外国にルーツのある子どもたちの課題や現状をまとめた「外国人の子ども白書（明石書店）」の出版をきっかけに、子どもの支援を考えるワークショップが4月10日、豊中市内であった。想定の人数を大幅に超えて当事者の若者を含む約140人が参加した。子どもの支援にかかわる市民や教員らは「個別の取り組みには限界があり、こんな場を求めていた」と通感を確かめた。

第一部「当事者からの発信」では、若者の立場から、フィリピン人の母親と日本人の父親の間に生まれたラホルテ雅樹さんが登壇し、「みんな悩みながら生きている。生きようよは、誰か個人の問題ではない。「人権」を本の中だけの言葉にせず、自分を大事にしながら社会を愛したい」と訴えた。大阪朝鮮高級学校の生徒は「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と願って民族の文化や権利を学んでいる。「ワリハッキョ（私たちの学校）」は強い心を育てくれる特別な場所です」と発表し、大きな拍手を浴びた。

「外国人の子ども白書」ワークショップ

2017年度は外国につながる子どもの支援について、ネットワークが進んだ一年でした。

2017年4月、「外国人の子ども白書」という書籍が出版されました。周りでは「大阪の状況はどうか」「大阪ならではの取組やネットワークがあるのではないか」という声があり、大阪府内で外国につながる子どもの支援に関わっている団体に声をかけ、6月に実行委員会形式でシンポジウムを開催しました。その後、実行委員会メンバーで外国につながる子どもの支援に関するリーフレットを作成する作業を進めています。

悩み共有「社会変える」



「外国人の子ども白書」ワークショップ

第一部「当事者からの発信」では、若者の立場から、フィリピン人の母親と日本人の父親の間に生まれたラホルテ雅樹さんが登壇し、「みんな悩みながら生きている。生きようよは、誰か個人の問題ではない。「人権」を本の中だけの言葉にせず、自分を大事にしながら社会を愛したい」と訴えた。大阪朝鮮高級学校の生徒は「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と願って民族の文化や権利を学んでいる。「ワリハッキョ（私たちの学校）」は強い心を育てくれる特別な場所です」と発表し、大きな拍手を浴びた。



「外国人の子ども白書」ワークショップ

第二部「当事者からの発信」では、若者の立場から、フィリピン人の母親と日本人の父親の間に生まれたラホルテ雅樹さんが登壇し、「みんな悩みながら生きている。生きようよは、誰か個人の問題ではない。「人権」を本の中だけの言葉にせず、自分を大事にしながら社会を愛したい」と訴えた。大阪朝鮮高級学校の生徒は「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と願って民族の文化や権利を学んでいる。「ワリハッキョ（私たちの学校）」は強い心を育てくれる特別な場所です」と発表し、大きな拍手を浴びた。

「子どもの夢応援ネットワーク」は2016年秋から準備を行い、2017年7月に発足したネットワークです。2018年3月には「ともに生きるシンポ～多民族社会「日本」のこれから～」を実施しました。湯浅誠さんの講演、外国にルーツをもつ若者とのパネルディスカッションなど白熱した議論が展開されました。

当協会はどちらのネットワークにも構成メンバーとして参加しています。引き続き、外国につながる子ども・若者の支援に豊中だけでなく広域のネットワークも生かして取り組んでいきます。

「外国人の子ども白書」ワークショップが2017年6月19日 毎日新聞大阪版にとりあげられました

「子どもの夢応援ネットワーク」で実施した、「ともに生きるシンポ～多民族社会「日本」のこれから～」の様子。湯浅誠さんの講演をはじめ、外国にルーツのある若者をパネリストに迎えたディスカッションで活発な話し合いが行われました。



1月に「新春のつどい」を開催



2018年1月28日に「新春のつどい」(@すてっぷホール)を開催しました。協会の取組について、より多くの人に知ってもらうこと、集った人の中で交流を深めることを目的としていました。当日はセンター・協会事業の関係者、その他の多くの関係団体の方々、市役所職員、議員（市議会、府議会、国会）、駐日領事など総勢約130名の参加がありました。各国のお料理あり、ステージでの出し物あり、「エトレ豊中」の店舗や地域の事業者の皆様にご提供をいただいたお楽しみ抽選会あり…盛りだくさんの2時間半でした。

※当日は在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館総領事 ブ・トアン・ハイ様、在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館領事 キエウ・マン・リン様、在大阪ロシア連邦総領事館領事 シュベツォワ・エレナ様、駐大阪大韓民国領事館領事 崔哲豪様、豊中市長浅利様、市議会議長福岡様等、多くの方からごあいさついただきました。ありがとうございました！

パワーアップめざして、職員研修会



写真左) 門美由紀さんによる「ソーシャルワークの価値」について学ぶ研修会

写真右) 休館日に職員全員で協会の取り組みを振り返る1日ワークショップを実施@箕面・北芝

職員研修は今年度47回実施しました。テーマは様々でしたが、今年は特にソーシャルワーク（講師：大阪府立大学の山中京子さん、東洋大学の門美由紀さん）と、ハラスメント（セクシャルハラスメント、レイシャルハラスメント）について複数回学ぶ場を持ちました。ほか、相談対応にかかわる事業職員向けにグループ・スーパービジョンを毎月実施したほか、職員全員でミッションを共有した上で協会の課題や今後の取り組みについて語り合う機会を設けました。

事業評価会&ランチ交流会



3月には毎年恒例の市民参加型事業評価会&ボランティア交流会を開催し、事業ボランティア・関係者が58人参加しました。全事業の1年間の取り組みを「居場所・エンパワメント・ボトムアップの組織づくり」の視点から振り返り、次年度取り組むべき課題をまとめました。終了後のランチ交流会ではボランティアやスタッフ間の親睦をはかりました。

財務報告

正味財産増減計算書

2017年4月1日から2018年3月31日

勘定科目	(単位:円)			勘定科目	(単位:円)		
	当年度	前年度	増減		当年度	前年度	増減
正味財産増減の部				1. 繰越利益剰余金	56,550	60,546	△ 4,045
1. 繰越利益剰余金				2. 繰上利益剰余金	1,880	18,778	△ 18,858
(1) 繰上利益剰余金				3. 繰下利益剰余金	23,600	117,750	△ 84,750
(1) 基本財産増減部				4. 繰上利益剰余金	217,138	674,997	△ 457,859
基本財産受取利息	3,873,756	3,873,756	0	5. 繰下利益剰余金	3,702	0	△ 3,702
基本財産運用益	3,873,756	3,873,756	0	6. 繰上利益剰余金	3,755	8,982	△ 5,227
特定資産受取利息	52,700	24,500	28,200	7. 繰上利益剰余金	72,149,213	82,378,591	△ 10,439,078
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	8. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	9. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	10. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	11. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	12. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	13. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	14. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	15. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	16. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	17. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	18. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	19. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	20. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	21. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	22. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	23. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	24. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	25. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	26. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	27. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	28. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	29. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	30. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	31. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	32. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	33. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	34. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	35. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	36. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	37. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	38. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	39. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	40. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	41. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	42. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	43. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	44. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	45. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	46. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	47. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	48. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	49. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	50. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	51. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	52. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	53. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	54. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	55. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	56. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	57. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	58. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	59. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	60. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	61. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	62. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	63. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	64. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	65. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	66. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	67. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	68. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	69. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	70. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	71. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	72. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	73. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	74. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	75. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	76. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	77. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	78. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	79. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	80. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	81. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	82. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	83. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	84. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	85. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	86. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	87. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	88. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	89. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	90. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	91. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	92. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	93. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	94. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	95. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	96. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	97. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	98. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	99. 繰上利益剰余金			
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	100. 繰上利益剰余金			

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

基本財産の投資有価証券は償却原価法(定額法)によっている。
特定資産の投資有価証券は期末日の市場価格に基づく時価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用図書

個別法による原価法によっている。
当期末の残地棚卸残高に基づき計上している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

◆ソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」

社会課題に対して「NPO・NGO」「企業」「消費者」の3者が協力をしているソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」に参加しています。消費者が、目的に賛同するNPOやNGOに寄付で支援できるもので、皆さんの毎日のワンクリックのご協力で、2017年度は支援金**69,755円**をいただきました！グッドゥは2018年1月末で終了しています。みなさんご協力ありがとうございました。

